

【地域協働推進課からのお知らせ①】 ～雪による被害防止について～

■家の中で安全に過ごすために

- ① 気象情報に注意して、暴風雪が予想される時は、外出を避けましょう。
- ② 日頃から停電に備え、懐中電灯・携帯ラジオ・防寒具・ポータブルストーブ・灯油・非常食・飲料水などを準備しておきましょう。
- ③ FF式暖房機などを使用している場合は、一酸化炭素中毒を起こすおそれがありますので、給排気口付近が雪でふさがれないように注意しましょう。

■車で外出するときに気をつけること

- ① 万一来て備えて、携帯電話を忘れずに所持しましょう！
- ② 車が立ち往生する可能性があるため、防寒着・長靴・手袋・スコップ・けん引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認して出かけましょう。
また、万一来て備えて飲料水や非常食も用意しておくことで安心です。
- ③ 運転していて、地吹雪などにより危険を感じたら、無理をせずに道の駅やコンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどで天気の回復を待ちましょう。
- ④ 大雪や吹きだまりなどで車が立ち往生したときは、ロードサービスや近くの人家などに必ず救助を依頼しましょう。また、ハザードランプの点灯や停止表示板を置くなど、車が目立つようにしましょう。
- ⑤ 避難できる場所や近くに人家がない場合は、消防（119番）や警察（110番）に連絡して、車の中で救助に備えてください。
- ⑥ 車が雪に埋まったときは、エンジンを切りましょう。マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときは窓を開けて換気し、こまめにマフラーまわりを除雪してください。

■除雪を行うときに気をつけること

①屋根の雪下ろしをするときは

- ・複数で行う ⇒ ハシゴを支える。安全を確認する。万一の場合は、救助を求める！
やむを得ず一人で行う場合は、家族や近所の人に声をかける！
- ・滑り止め ⇒ 靴やハシゴに滑り止めをつける等の工夫をする！
- ・命綱をつけて ⇒ 面倒でも、腰に命綱をつけて滑った場合や雪の急落に備える！
- ・周囲を確認 ⇒ 屋根の下を通行する人や子どもに注意する！

②除雪機を使用するときは

- ・服装に注意 ⇒ 機械に巻き込まれないような服装に着替える！
- ・雪が詰まった場合 ⇒ 機械トラブルが発生したときは、必ずエンジンを停止する！
- ・周囲を確認 ⇒ 通行人や子ども等に注意する！

③その他の注意事項

- ・屋根の雪に注意 ⇒ 屋根の下を通るときは、「雪」や「つらら」に注意する！
- ・除雪時の健康に注意 ⇒ 無理に除雪作業は行わない。除雪作業で汗をかいたら着替えをする！
- ・気象情報に注意 ⇒ 暴風雪警報や大雪警報が発表されたら、外出は控える！

問合せ 地域協働推進課 防災グループ ☎21-2142

【地域協働推進課からのお知らせ②】 ～見慣れない船を見つけたときは！～

日本海沿岸を中心に朝鮮半島からのものと思われる木造船が、多数漂流していることが、第一管区海上保安本部により確認されています。

見慣れない船を見つけたときは、近づかず、すぐ通報してください。



**近づかず、
すぐ通報を。**

通報先 海上保安庁 ☎118番
警察 ☎110番

余市町の空間放射線量率の状況

測定日：11月22日～12月19日

最高値：57 nGy/h

最低値：31 nGy/h

平均値：37 nGy/h

※平常時は10～60 nGy/h程度で測定されます。

空間放射線量率は
「平常レベル」でした

問合せ 地域協働推進課 ☎21-2142